

働く男のライフスタイル情報紙

BizLifeStyle

[ビズスタ東京]

2023 09

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、関西、
仙台、福岡、広島にて49万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2023 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD

海と富士、
絶景が織り成す
美食の宿にて。

明治四十四年創業、百十年の時を超えて今なお愛される名宿。

新たな温泉地 伊豆・三津浜温泉『松濤館』の魅力

My Favorite Life Style



新たな温泉地として、新たな進化を。伊豆・三津浜温泉の名宿『松濤館』が目指す「感動」とは。

静岡県でも有数の観光地として全国的な知名度を持つ「伊豆」の中でも、伊豆半島の西側、付け根付近に位置する三津浜(みとはま)は、古くから西伊豆の玄関口として発展してきた。駿河湾越しに眺める富士山の眺めは絶景で、多くの著名作家たちに愛されてきた。

この恵まれた立地に構える「松濤館」は、明治四十四年(1911年)創業の歴史豊かな老舗宿。伊豆及び温泉ファンの間では「なかなか予約が取れない宿」としても知られる。観光の激戦区で大正昭和平成を駆け抜け、この令和の世でも旅行雑誌や「ユース」などで総じて高評価を獲得し続ける理由とは。今回は、営業支配人を務める我妻英俊氏を訪ね、顧客満足度の高い宿の舞台裏について話をうかがった。

— 松濤館は三津浜を代表する宿として深い歴史を積み重ねてこられた。「海と富士絶景の美食館」というフレーズは、旅行好きの間でも浸透しているとか。

— おかげさまで当宿の部屋からの富士の眺めは、古くから「天下の絶景」としての評価をいただけてきました。また、青い海や緑豊かな景観も含めた広がりと奥行きのある景色を愛でるお客様が多い点は、昔も今も変わりません。中には数か月にわたり逗留された方もおられますし、かつては洋画家の梅原龍二郎や版画家の川瀬巴水などの名画にもこの眺めが多く描かれております。

— 文豪や名士が好んで宿としてきた一方で、伝統的に家族連れも多いとかがいきました。いわゆる高級旅館のひとひに数えられる宿であるのを考え、子どもたちの姿も目立つのは珍しいのでは。

— 確かに珍しいかもしれませんが、これまでも、私どもは買って親子三代でご利用いただける上質な旅館であることを目指して参りました。憩いの場を提案したいと考えています。

— 現在はWEBのレビューを参考にしている時代ですが、もとより「口」/「目」/「評判」が広がったわけですね。

— そうですね。ご予約いただく際、ご家族や友人からの紹介やお伝えくださるお客様はと多いです。旅全体の質を左右する宿泊施設は、本当に「良かった」と実感しない限りは、大人に勧めないと思いますので、皆様がそうお感じであるなら、とも光栄に思います。

— 接客やおもてなしの面が心にかけていることはあります。

— お客様からのお気持ちにできる限りお応えし、心から満足いただけるサービスを提供することがおもてなしの基本です。仮に対応困難なことがあっても「無理」にお答えすることなく、可能な限りご希望に近づけるように提案をさせていただきます。

— その時々ベストな方策を考えると、自ずから「す」/「き」/「こ」が見えてくるわけですね。

— 要望への対応だけでなく、私どもも考えてサブライズをご用意させていただくこともございます。たとえば、宿泊当日のお客様との会話の中で「今日は夫婦の記念日なんです」というお話をうかがった時は、夕食の時に赤飯を用意したり、ちま子をいただいたプレゼントを用意したり、そうした臨機応変なおもてなしを大切にしております。

— 仰る通りです。ご宿泊いただいた翌朝などは、よく館内が清潔で居心地がよかったですとお褒めの言葉をいただきます。これはもちろん清掃を徹底しているからですが、本来は特筆に値する点ではなく、あく当然の業務でなければなりません。細かい仕事を軽視せず、また特別なことも考え、当り前のことを日々堅実に、確実に行うことがお客様への礼儀であり、おもてなしの原点だと考えられます。

— どのレビューサイトを見ても評価が高なのは、宿泊客がこうした姿勢を見ているからではないかと。

— 長い歴史の中でこれだけの実績を有していても、慢心しないというところがですね。

— 現状は満足する一方で、ご止まりしてまいりますから、「1」のくらいで十分かなという気持ちに流れると、お客様

— 松濤館と言えば、料理でも有名ですね。

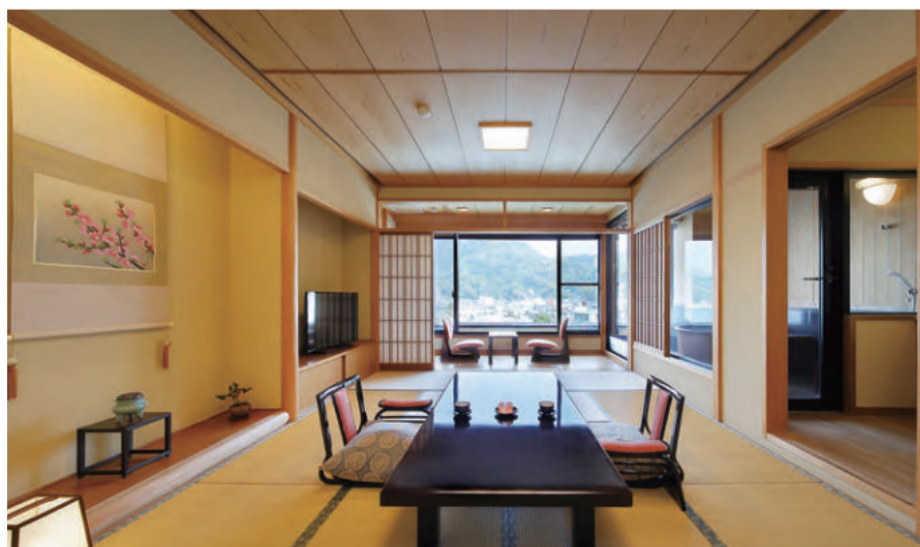
— 地場と旬の食材にこだわり、丹精込めてお作りしております。メニューが毎月変わりますので、それを楽しみに再訪していただけるリピーターの方も多いです。駿河湾で揚がった新鮮な海産物を中心とした月替わりの和風創作料理は宿の目玉のひとつで、伊豆の食材はもともと、箱根連山の西南に広がる高原で栽培される箱根西麓三島野菜をはじめ地場と旬の食材にこだわっております。金目鯛やあなご、和牛など、季節が変わる夕食の鍋も名物のひとつとなっています。

— 2019年のリニューアルが話題を集めました。今年も予定があるそうですね。

— 当宿では先々掘削を実施し温泉湧出に成功しました。まさに「この場所の自家源泉」ということになり、今までの温泉と、今回湧出した温泉をブレンドして近く混合泉としてお楽しみいただけるようになる予定です。

— 旅館が自ら温泉を掘るといっのはすごいですね。他にも何か新しい展開はございますか。

— 当宿はリピーターのお客様がとても多いので、ご再訪いただいた際にさらに新鮮な感動をお届けできるよう、今年新たな施設として画談話室「悠」をオープンいたしました。館内にもいろいろな絵画が飾りますが、「悠」にはまだご覧いただきたいことのない作品や、日本画の巨匠の名画などを展示し、独特の雰囲気を醸し出す空間を演出しております。ぜひお寛ぎの時間にご鑑賞いただき、語り合いの場としてご利用ください。



My Favorite Life Style



2023年に新たに画廊談話室「悠」がオープン。寛ぎの時間を提供している

富士の絶景と駿河湾の美味を、心ゆくまで。



客室の掛け軸や所蔵の絵画も見どころ。横山大観や棟方志功、東山魁夷、草間彌生などの作品が季節ごとに楽しめる。

前ページで営業支配人の我妻英俊氏が触れていた通り、『松濤館』は2019年に3タイプ9室の客室のリニューアルを敢行している。直後にあの「コロナ禍」に見舞われたが、皮肉なことに、「三密回避」の行動が強く求められる中で、同宿のホスピタリティが改めて評価を集めることとなった。ほかの宿泊客と文字通り「非接触」で過ごせる半露天風呂付き客室は独立性が高く、安全に、快適に滞在できる証ともなってきたからだ。

客室はバリエーションも豊富。たとえば新客室である半露天風呂付き特別室「月」は、角部屋を活かした「天パノラマ仕様。専用の半露天風呂で寛ぎ、独立したベッドルームで至福のひと時を過ごすことができる。半露天風呂付きの客室ではプライベート空間の開放感を存分に味わうことができるが、ふたつの展望大浴場も見逃すわけにはいかない。それぞれ檜風呂と岩風呂

の露天風呂を備えており、こちらも展望を存分に堪能しながら湯浴みが可能。さらには貸切風呂でも個人的な景観が待っている。温泉を満喫したら、11室から成る数寄屋風造りの個室料亭街「京小路」へ。有名画家の作品が飾られている廊下を奥へ進むと、完全個室の料亭が並んでいる。他の宿泊者との接触を気にすることも無く、自身の客室と同じように寛いだ雰囲気の中で食事ができる。さて、ここまでいくつかの写真を掲載しているが、その多くに富士山が写り込んでいることにお気づきだろうか。特に意識していなくても海と富士が視界に入っているという「絶景の宿」が実は、実際に現地でも体感すると感動を覚える。また、この秋以降は、我妻氏が触れていた独自掘削の温泉の併用も始まる予定。至極の時間の体感に、ぜひ訪ねてみたい。

1泊2食付き2名1室の1名料金(税サ込・入湯税別)
30,800円～(特別室48,400円～)

松濤館 検索

<https://www.shoutoukan.com/>



■宿泊予約・お問い合わせは
TEL.055-943-2311

伊豆・三津浜温泉 松濤館
静岡県沼津市内浦三津7
チェックイン/14:30 チェックアウト/10:30

しょうとうかん
伊豆・三津浜温泉 松濤館

